

2019年度国立天文台 TMT 戦略基礎開発研究募集要項

1. 概要

日本の TMT 推進プロジェクトの描く方針と共同・連携し、長期戦略をもって包括的に実施される、TMT 観測装置の実現に向けた基礎開発研究計画を募集しています。特に、一昨年度には TMT プロジェクトの第二期装置の white paper が提出され、現在各装置の検討が進みつつあります。本研究経費は、それらに関連し、日本の独自性やアイデアを十分に活かした装置開発研究を支援することを目的としています。2019 年度は総額 1,500 万円の助成を見込んでいます。

2. 求める研究計画像

将来的に TMT の装置開発計画、特に第二期装置の開発に密接に関連のある課題に重点的に配分する方針です。3 年間程度で概念検討に至るような計画を期待します。(複数年度にわたる研究の場合、年度ごとの応募が必要です。) 国際的な協力関係がある課題については、代表者がその分担の実行に責任を持つ形でのご応募をお願いします。

(なお、TMT 第二期装置については、

<https://www.tmt.org/page/second-generation-instruments>

をご覧ください。)

3. 応募方法

別紙様式による提案書を必ず PDF に変換の上、メール添付にてご送付ください。

提出先 : ck.yasui(at)nao.ac.jp

提出期限 : 2019 年 4 月 25 日 (木) 正午 必着

4. 審査結果通知

応募課題の審査は、国立天文台 TMT 科学諮問委員会が責任をもって設置する審査委員会にて行います。審査結果は 2019 年 5 月末頃に、代表者宛に通知します。

5. 採択課題の評価

本 TMT 戦略基礎開発研究の推進に当たっては、その進行状況・成果・問題点などを、当審査委員会により能動的に精査し、基礎開発の方向性に対して十分な情報交換、助言を行うとともに、問題があれば必要な対策や割当額の検討を行います。

採択された課題についての計画進捗のレビューは日本 TMT 推進プロジェクトの中長期的なロードマップにも反映させるよう、TMT 科学諮問委員会において行うことを予定していますし、研究の進捗状況確認のために委員が視察に訪れる事もあり得ます。また年度末には、別途定める書式に基づいて研究成果の報告書を提出していただき、継続申請の場合は前

年度の成果報告も含めて評価します。

6. 研究経費について

研究経費は国立天文台での執行が基本となりますが、研究遂行上必要な場合は、本機構と代表者所属機関との間で共同研究契約を締結した上で、所属機関にて執行することが可能です（旅費のみの執行は除く）。なおこの場合、所属機関に対する間接経費の配分はありませんので、経理担当の方とよくご相談の上応募ください。希望される場合は、予め所属機関の事務担当部署の了承を得た上で、提案書の所定欄にてお知らせください。なお、本経費から人件費を支出することはできません。

7. お問い合わせ先

自然科学研究機構 国立天文台 TMT 推進室 安井千香子

E-mail : ck.yasui(at)nao.ac.jp

8. 研究成果における謝辞の表示のお願い

TMT 戦略基礎開発研究経費により得た研究成果を発表する場合は、本研究経費により助成を受けたことを必ず表示してください。